

社会の要請

- ・日本国憲法、こども基本法、教育基本法等各種法令
- ・子どもの権利条約
- ・学習指導要領
- ・北海道教育推進計画
- ・小樽市教育推進計画

【学校の教育目標】（今年度見直し予定）

かしこい子ども
美しい心をもつ子ども
強くたくましい子ども

保護者・地域の願い

- 「子どもを未来につなぐ
笑顔あふれる学校」
- ・基礎・基本を大切に、確実に身に付ける子ども
 - ・自他を理解し、しっかり考えて伝える子ども
 - ・学びを活かし、仲間とともに高め合う子ども

【年度の重点目標】 進んでかかわり、ともに鍛える銭小の子の育成

【重点目標の達成に向けて】

- 「凡事徹底」 当たり前前ことを、当たり前前にできる（ルールの徹底）
「自他理解」 自分で考え、判断し、行動する（客観的な見方・思いやり）
「連携協働」 集団として高める、つなげる（助け合い・協力）

子どもが「いつも自分は大切に见守られている」と実感できるように 全職員で全児童のサポートを！

- 【副担任制の導入】 ○低・中・高ブロックに各 1 名を配置
→朝、担任は教室で！副担任は玄関で！
- 【教科担任制の導入】 ○専科指導、学級担任間の授業交換等を実施
→多面的な児童理解、チームで指導
- 【組織的な生徒指導】 ○低・中・高ブロック、教務主任、教頭で構成
→いじめ、不登校、問題行動、虐待 等

＜学級経営の基盤づくり＞

～居心地の良い学級を目指して～

【自己存在感】

- ・自分が一人の人間として大切にされていると感じる。
- 誰かの役に立った（認められた）と感じる。

【共感的人間関係】

- ・失敗を恐れない。できないことや間違いを笑わない。
- なぜそう思ったのかみんなで考える。

【自己決定の場】

- ・自分の意見を述べる（伝わる言葉で）。対話や議論をする。協力し合う。磨き合う。

【安全・安心な風土】

- ・「わからない」「できない」と言える学級づくり。
- 「絆づくり」と「居場所づくり」

＜教職員としての心構え＞

～できないことの指摘より、できたことの称賛を～

【褒める 3 S】

- 「すごい！（驚き）」 「さすが！（尊敬）」
「すばらしい！（優秀）」

【ケアの 3 D】

- 「どうしたの？（傾聴）」
「どうしたいの？（自己決定を促す）」
「先生は、どうすればいい？（支援）」

【教育公務員として】

- ・コンプライアンス意識とマナーの向上
- ・情報共有と組織対応
- ・前例踏襲ではなく、常に検証・改善・プラスワン思考で
- ・環境の 3S「整理」「整頓」「清掃」

【教育課程経営】

- ①未来を創る力の育成 ②豊かな心の育成 ③健やかな体の育成 ④家庭・地域との連携・協働の推進
⑤学びと育ちをつなぐ学校づくりの実現 ⑥生涯各期における学習機会の充実との関連
⑦文化芸術の振興と文化遺産の保存活用との関連 ⑧生涯スポーツ・レクリエーションの振興との関連